

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成24年11月14日

【四半期会計期間】 第35期第2四半期(自平成24年7月1日至平成24年9月30日)

【会社名】 日本プリメックス株式会社

【英訳名】 NIPPON PRIMEX INC.

【代表者の役職氏名】 代表取締役会長兼社長 中川善司

【本店の所在の場所】 東京都大田区鵜の木一丁目5番12号

【電話番号】 03(3750)1234

【事務連絡者氏名】 執行役員 総務部長兼企画室長 神戸秀実

【最寄りの連絡場所】 東京都大田区鵜の木一丁目5番12号

【電話番号】 03(3750)1234

【事務連絡者氏名】 執行役員 総務部長兼企画室長 神戸秀実

【縦覧に供する場所】 株式会社大阪証券取引所
(大阪府中央区北浜一丁目8番16号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第34期 第2四半期 連結累計期間	第35期 第2四半期 連結累計期間	第34期
会計期間	自 平成23年 4月 1日 至 平成23年 9月30日	自 平成24年 4月 1日 至 平成24年 9月30日	自 平成23年 4月 1日 至 平成24年 3月31日
売上高 (千円)	2,184,845	2,133,918	4,422,583
経常利益又は経常損失 () (千円)	23,352	51,138	231,918
四半期(当期)純利益 又は四半期純損失 () (千円)	24,676	26,892	106,832
四半期包括利益又は包 括利益 (千円)	89,439	16,503	89,852
純資産額 (千円)	3,711,260	3,768,791	3,890,552
総資産額 (千円)	5,296,168	5,482,261	5,668,941
1株当たり四半期(当 期)純利益金額又は四 半期純損失金額 () (円)	4.68	5.11	20.30
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	70.1	68.7	68.6
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	96,812	58,872	303,961
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	95,480	181,510	73,881
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	132,110	123,545	155,359
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	1,492,856	1,636,335	1,592,401

回次	第34期 第2四半期 連結会計期間	第35期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成23年 7月 1日 至 平成23年 9月30日	自 平成24年 7月 1日 至 平成24年 9月30日
1株当たり四半期純利益金額又は四 半期純損失金額 () (円)	2.42	2.37

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 売上高には消費税等は含まれておりません。

3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中における将来に関する事項は、本四半期報告書提出日現在において、当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

売上高

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等により、緩やかな回復の兆しが見られたものの、欧州における財政不安の長期化、中国などの新興国経済の減速をはじめ、円高の進行や長引くデフレなどにより依然として先行きが不透明な状況が続いております。

このような経済環境のなかで、当社グループは、新規顧客の獲得や新市場への参入などの販売活動を積極的に展開してまいりました。

しかしながら、国内では、全般的な設備投資の抑制傾向等もあり、力強さに欠ける状況の中、受注高は低調に推移しております。中・小型の案件、リピータ受注を中心に売上高は21億33百万円となり、前年同四半期と比べ50百万円（2.3%）の減少となりました。

なお、商品群別業績は次のとおりであります。

当第2四半期連結累計期間における商品群別売上高は、ミニプリンタメカニズムは1億36百万円（前年同四半期と比べ32百万円（19.2%）の減少）、ケース入りミニプリンタは11億20百万円（前年同四半期と比べ99百万円（8.1%）の減少）、ミニプリンタ関連商品は3億94百万円（前年同四半期と比べ53百万円（15.6%）の増加）、消耗品は2億17百万円（前年同四半期と比べ3百万円（1.4%）の減少）、大型プリンタは48百万円（前年同四半期と比べ1百万円（2.4%）の減少）、その他は2億16百万円（前年同四半期と比べ32百万円（17.7%）の増加）となりました。

売上総利益

当第2四半期連結累計期間の売上総利益は6億10百万円となり、前年同四半期と比べ30百万円（5.2%）の増加となりました。一部で販売価格の低下等の影響はありましたが、製造コスト削減により売上総利益は増加いたしました。

販売費及び一般管理費

当第2四半期連結累計期間における販売費及び一般管理費は、経費節減等に注力した結果 4億81百万円と前年同四半期と比べ10百万円（2.2%）の減少となりました。

営業利益

当第2四半期連結累計期間における営業利益は1億29百万円となり、前年同四半期と比べ40百万円（46.3%）の増加となりました。

経常利益

当第2四半期連結累計期間における経常利益は51百万円となり、前年同四半期と比べ74百万円の改善となりました。営業外費用において為替差損74百万円、投資有価証券評価損10百万円等を計上いたしました。

四半期純利益

税金等調整前四半期純利益は51百万円（前年同四半期は税金等調整前四半期純損失23百万円）となり、税効果会計適用後の法人税等負担額は24百万円（前年同四半期は1百万円）となりました。その結果、当第2四半期連結累計期間における四半期純利益は26百万円（前年同四半期は四半期純損失24百万円）となりました。

(2) 財政状態の分析

資産、負債および純資産の状況 (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて3.6%減少し、36億48百万円となりました。これは、主として現金及び預金が1億65百万円減少したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて2.8%減少し、18億33百万円となりました。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて3.3%減少し、54億82百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて4.0%減少し、14億73百万円となりました。これは、主として未払法人税等が52百万円減少したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて1.5%減少し、2億40百万円となりました。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて3.7%減少し、17億13百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて3.1%減少し、37億68百万円となりました。主な要因は剰余金の配当1億5百万円であります。

1株当たり純資産は、前連結会計年度末に比べて23円14銭減少し、716円10銭となりました。また、自己資本比率は、前連結会計年度末の68.6%から68.7%となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前年同四半期に比べ1億43百万円増加、前連結会計年度末に比べ43百万円増加し16億36百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によって得られた資金は、58百万円（前年同四半期96百万円）となりました。これは主として税金等調整前四半期純利益の計上51百万円、減価償却費の計上33百万円、売上債権の減少86百万円、たな卸資産の増加1億19万円、法人税等の支払額77百万円となったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によって得られた資金は、1億81百万円（前年同四半期は95百万円）となりました。これは主として定期預金の払戻による収入5億33百万円が定期預金の預入による支出3億23万円を上回ったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は1億23百万円（前年同四半期1億32百万円）であり、これは主として配当金の支払による支出1億5百万円、その他（リース債務の返済額）18百万円の支出によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当連結会社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の一般管理費及び製造費用に含まれる研究開発費の総額は62百万円であります。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	22,090,000
計	22,090,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成24年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成24年11月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	5,523,592	5,523,592	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は100株であります。
計	5,523,592	5,523,592		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年7月1日～ 平成24年9月30日		5,523,592		393,997		283,095

(6) 【大株主の状況】

氏名又は名称	住所	平成24年9月30日現在	
		所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)

中川 善司	東京都大田区	2,031	36.77
中川 悦子	東京都大田区	889	16.10
日本プリメックス従業員持株会	東京都大田区鷺の木1丁目5 - 12	284	5.15
中川 亮	東京都大田区	221	4.00
中川 優	東京都大田区	221	4.00
上原 幸	埼玉県蕨市	164	2.97
竹田 和平	愛知県名古屋市	162	2.94
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内2丁目7 - 1	100	1.81
株式会社みずほ銀行 (常代)資産管理サービス信託銀行 株式会社	東京都中央区晴海1丁目8 - 12晴海アイランド トリトンスクエアオフィスタワーZ棟	90	1.62
朝比奈 誠	山梨県南都留郡	78	1.42
計		4,244	76.83

上記のほか当社所有の自己株式260千株(4.72%)があります。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 260,600		
完全議決権株式(その他)	普通株式 5,262,000	52,620	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。
単元未満株式	普通株式 992		同上
発行済株式総数	5,523,592		同上
総株主の議決権		52,620	

【自己株式等】

平成24年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 日本プリメックス株式会社	東京都大田区鷺の木1丁 目5 - 12	260,600		260,600	4.72
計		260,600		260,600	4.72

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期累計期間における役員の新任及び退任はありません。

なお、役員の様職の異動については次のとおりであります。

新役名及び職名	旧役名及び職名	氏名	異動年月日
取締役執行役員 営業サポート部 部長	取締役（非常勤）	朝比奈 誠	平成24年8月1日

第4【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,034,487	1,868,989
受取手形及び売掛金	2 1,271,809	2 1,185,236
商品及び製品	291,866	358,635
原材料及び貯蔵品	166,576	219,076
繰延税金資産	16,319	14,045
その他	7,176	5,810
貸倒引当金	5,108	3,090
流動資産合計	3,783,126	3,648,702
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	316,833	307,314
機械装置及び運搬具（純額）	6,612	6,268
工具、器具及び備品（純額）	10,393	11,718
土地	934,341	934,341
リース資産（純額）	46,389	32,428
有形固定資産合計	1,314,569	1,292,071
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	422,535	389,471
繰延税金資産	128,013	131,160
その他	14,828	13,939
貸倒引当金	1,901	700
投資その他の資産合計	563,476	533,871
固定資産合計	1,885,815	1,833,558
資産合計	5,668,941	5,482,261

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2 1,222,390	2 1,215,338
短期借入金	100,000	100,000
未払法人税等	79,389	27,237
賞与引当金	38,075	41,811
その他	94,836	89,018
流動負債合計	1,534,692	1,473,404
固定負債		
退職給付引当金	122,024	119,960
役員退職慰労引当金	100,928	105,727
その他	20,743	14,377
固定負債合計	243,697	240,065
負債合計	1,778,389	1,713,470
純資産の部		
株主資本		
資本金	393,997	393,997
資本剰余金	283,095	283,095
利益剰余金	3,449,677	3,371,311
自己株式	158,835	158,835
株主資本合計	3,967,935	3,889,569
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	77,382	120,778
その他の包括利益累計額合計	77,382	120,778
純資産合計	3,890,552	3,768,791
負債純資産合計	5,668,941	5,482,261

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	2,184,845	2,133,918
売上原価	1,604,117	1,522,999
売上総利益	580,727	610,918
販売費及び一般管理費	1 492,402	1 481,706
営業利益	88,325	129,212
営業外収益		
受取利息	250	243
受取配当金	6,870	5,070
その他	3,324	2,079
営業外収益合計	10,445	7,392
営業外費用		
支払利息	425	339
投資有価証券評価損	19,696	10,839
為替差損	101,807	74,224
その他	194	64
営業外費用合計	122,122	85,466
経常利益又は経常損失()	23,352	51,138
特別損失		
固定資産除却損	18	21
特別損失合計	18	21
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	23,370	51,117
法人税、住民税及び事業税	9,159	25,112
法人税等調整額	7,852	887
法人税等合計	1,306	24,224
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失()	24,676	26,892
四半期純利益又は四半期純損失()	24,676	26,892

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	24,676	26,892
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	64,763	43,395
その他の包括利益合計	64,763	43,395
四半期包括利益	89,439	16,503
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	89,439	16,503
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	23,370	51,117
減価償却費	40,733	33,246
退職給付引当金の増減額(は減少)	2,196	2,064
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	1,626	4,798
賞与引当金の増減額(は減少)	2,964	3,735
貸倒引当金の増減額(は減少)	16	3,218
受取利息及び受取配当金	7,120	5,313
為替差損益(は益)	99,783	72,904
投資有価証券評価損益(は益)	19,696	10,839
売上債権の増減額(は増加)	20,138	86,573
たな卸資産の増減額(は増加)	25,723	119,268
仕入債務の増減額(は減少)	35,043	7,052
未払消費税等の増減額(は減少)	2,093	1,160
その他	2,724	5,998
小計	126,338	131,134
利息及び配当金の受取額	7,414	5,348
利息の支払額	425	346
法人税等の支払額	36,514	77,264
営業活動によるキャッシュ・フロー	96,812	58,872
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	353,360	323,653
定期預金の払戻による収入	454,633	533,085
有形固定資産の取得による支出	4,948	6,012
投資有価証券の取得による支出	-	21,362
その他	844	546
投資活動によるキャッシュ・フロー	95,480	181,510
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	105,258	105,258
その他	26,852	18,286
財務活動によるキャッシュ・フロー	132,110	123,545
現金及び現金同等物に係る換算差額	99,783	72,904
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	39,601	43,934
現金及び現金同等物の期首残高	1,532,457	1,592,401
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,492,856	1,636,335

【会計方針の変更等】

当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日至平成24年9月30日)
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)
当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。
これによる損益に与える影響は軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 手形裏書譲渡高

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
受取手形裏書譲渡高	793千円	3,185千円

2 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、当第2四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
受取手形	28,218千円	25,222千円
支払手形	97,232	117,351

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費用及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
物流委託費	26,551千円	27,858千円
従業員給料手当	199,162	199,639
役員退職慰労引当金繰入額	3,715	4,450
退職給付費用	15,824	9,419
賞与引当金繰入額	35,662	34,277
法定福利費	37,363	36,637

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
--	---	---

現金及び預金	1,774,913千円	1,868,989千円
預入期間が3か月を超える定期預金	282,057	232,653
現金及び現金同等物	1,492,856千円	1,636,335千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当金の原資
平成23年6月29日 定時株主総会	普通株式	105,258	20	平成23年3月31日	平成23年6月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの
 該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当金の原資
平成24年6月26日 定時株主総会	普通株式	105,258	20	平成24年3月31日	平成24年6月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの
 該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

当社グループの報告セグメントが「ミニプリンタの開発・製造・販売事業」のみであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額() (円)	4円68銭	5円11銭
四半期純利益金額又は四半期純損失金額() (千円)	24,676	26,892
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損失金額() (千円)	24,676	26,892
普通株式の期中平均株式数(千株)	5,262	5,262

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月9日

日本プリメックス株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員 公認会計士 山 田 努
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 青 柳 淳 一
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている日本プリメックス株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成24年7月1日から平成24年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、日本プリメックス株式会社及び連結子会社の平成24年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。